

農 場 通 信

農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

■園芸に関する 8 つの研究を発表（システム園芸科）

1 年間の農業実習で疑問に思い、なぜ？ どうして？などを解明するプロジェクト発表会が開催され、本年度の学科発表会では 8 タイトルが発表しました。PDCA サイクルを理解するには最も有効な方法だと考えています。ICT 機器を活用した日々のデータ集計や編集、プレゼンテーションソフトでの考え方に関する一連の流れをまとめ、スライド化や言語化する学習は、将来の仕事観を育てるために不可欠な機会となっています。

	タイトル	学年	発表生徒名（代表）
1	2 年生シクラメンの栽培	3	小林、松野
2	フラワー装飾技能士と作品作り	3	松野、花見
3	ミニシクラメンの植物成長調整剤効果について～ジベレリンの有効性～	3	秋山、渡邊
4	シクラメンの 栽培用土の比較	3	清水、坂下
5	フリンジシクラメンの栽培研究	3	渡邊、堀口
6	気象データと果樹の生育状況の考察	3	菅原、名川
7	落葉果樹の伐採木を使ったひらたけ栽培	3	佐野、渡邊
8	棚田でグリーンライフ	2	中澤、水上、保坂



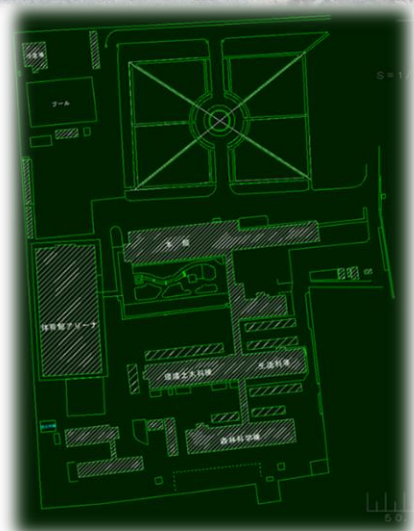
■久しぶりの演習林実習（森林科学科）

森林科学科は、三富演習林、御岳演習林、南アルプス演習林の 3 つのフィールドで実習を行います。実際、森林で体験し、座学で学んだ知識を活用できるようになることを目標としています。近年、コロナ禍で思うように活動ができませんでした。今年度は御岳演習林と南アルプス演習林で、刈り払い機の実習や森林観察を行いました。一般の登山道とは違った道なき道を歩き、生徒たちは森林での良い経験ができたと話していました。来年度は、演習林に監視カメラを設置し、生態系調査を行いたいと考えています。



■農林高校の平面図を作成（環境土木科）

環境土木科 3 年生課題研究の測量班は、今まで学んできた平板測量、水準測量、トラバース測量の技術を深化する目的で農林高校平面図の作成に取り組みました。最初に基準点を設置して測点を骨組みにするトラバース測量を行いました。農林高校は敷地が広いため A から F の 6 区画に分け実施しました。次にトラバース測量で測定した既知点を基に境界線や建物位置を放射法により求める細部測量を行いました。観測点は約 1 0 0 0 点にも及び大変な作業でした。これらの測量により得られたデータを電子化し、P C による計算処理から C A D による作図を行いました。右の図が完成した農林高校平面図です。今後、多方面への活用を考えています。



■フラワーアレンジメントを学ぶ（造園緑地科）

1月24日、25日の2日間、造園緑地科ではキャリアビジョン事業の一環として外部講師を招いたフラワーアレンジメント講座を開催しました。

1日目は外国のフラワーアレンジメントの歴史や基本的な形や日本の華道の歴史を学びました。講師は生花をいけて、流派や配植の説明をしてくださいました。

2日目の実技講習では「ドーム」と言われる基本形の作品を各自が製作しました。当初、生徒は不安な気持ちがありましたが、講師の御指導もあって最終的に美しく仕上がって喜んでいました。また、花の活け方が造園の空間構成の作法にも通じることを知るなど、生徒にとって充実した授業になりました。



■おせちプロジェクトとワインプロジェクトの発表（食品科学科）

学科プロジェクト発表会をオンラインで開催しました。農業クラブ委員が運営し、2発表の選手たちが研究成果と課題を発表しました。1つ目の発表は、「高校生おせちプロジェクト（中間報告）」（3S 小林・澤登他 15名）。企業とコラボして、おせちのメニューを開発し、食材や意味を調べ、県の特産品をリストアップして特色あるメニューを考える内容でした。2つ目は「農林ワイン（17ans）の販売～地域活性化を目指して～」（3S 古河他 4名）。高品質ワインの製造（GI 取得）、ブランド化、一般販売やふるさと納税返礼品などの成果を発表しました。さらに上位の大会を目指して研究を進めてほしいと思います。



本校は文部科学省のマイスターハイスクール事業に指定され、食品科学科のワインプロジェクトを中心に学習を行っています。9、10月に山梨県産ブドウを使用したワインを仕込みました。ワインプロジェクトはワインを醸造するだけではありません。「品質の良いワインにするにはどんな成分が必要なのか」など、食品化学の授業ではワインの成分分析を行い、化学的根拠を持って品質の良いワインを醸造する学習を行っています。

■校内プロジェクト発表会 学校代表を決定（農業クラブ）

1月18日（水）、校内プロジェクト発表会をWEBで開催しました。代表者は会議室で発表し、生徒は教室で観覧しました。農ク本会役員は運営が大変でしたが、スムーズに発表会を開催できました。また、冬休み明けの開催の為、発表者は準備する期間が短かったですが、全ての発表が今後の継続研究に繋がる素晴らしい内容でした。

結果は、①分野Ⅰ類 「やはたいも」栽培の普及を目指して…農業クラブ本会、②分野Ⅱ類 農林高校農場平面図の作成～測量方法の学習成果～…環境土木科、③分野Ⅲ類 農林ワイン「17ans（ディセタン）」～ブランド化と販路拡大を目指して～…食品科学科、④分野Ⅳ類 棚田再生プロジェクト…システム園芸科 が本校代表として県大会の出場が決定しました。県大会は2月10日（金）に開催されます。

